

須田 **dy4** 年生

須田を豊かに！ 信濃川とともに

「身近な地域」の大切さに意識を向ける … **ふりかえる つなげる**

4年生の社会科学習では、多くの人たちによって暮らしが支えられていることを、健康（水・ごみ）や安全（交通安全・防災）から学びます。それを受け、「前はどうだったの？」と、昔の人たちの努力や工夫について「**ふりかえる**」とともに、より豊かな未来の暮らしに「**つなげる**」アイデアを考え出します。これまでの学習は、次のとおりです。

信濃川を意識するために「**ふりかえる**」

家族など身近な人からの取材から始まった4年生の信濃川学習。「日本一長い川！」「昔は氾濫ばかり」「(でも)土がふかふかになって、美味しい果物ができる」等、過去にも目を向けた情報も集まりました。この活動の中から、「そういえば、信濃川をちゃんと見たことってないかも」というつぶやきが！

身近すぎることは、大切さやよさを意識する上では、かえって「壁」にもなります。

信濃川と私たちの生活を「**かかわらせる**」

「大島頭首工と白根排水機場」は、全く正反対の役目だ！」須田地区の農業用水にも使う水をくみ上げる「頭首工」。機械で雨を川に排水する「排水機場」。須田も含まれる「白根郷」の土地の低さとの関係を、施設の方から教えてもらいました。



大島頭首工の見学

「須田の洪水との戦い」へ

… **学んだことを「つたえる」**

「**わかった(つもり)**」から「**伝える**」へ

社会科「郷土の発展～洪水を防ぐために～」の学習で、大河津分水資料館に見学！信濃川につながっている大河津分水路が、須田地区も大水から守っているとあって、真剣に説明を聞く子供たち。

国語学習で身に付けた「メモの工夫」をフルに活用して、学習カードはびっしり！重要情報をゲット！



(立体模型を触って)空から見ると、新潟平野は平らだね。須田は……。

これは、大変だ
300年に70回以上
の大水が起
っている！



「これは、自分たちが住んでいる土地に流れている川のことなんだ！」

資料集から、信濃川の氾濫回数に驚き、五反田や北潟の地名を見つけた子供たち。

資料に自分たちの意識を引き寄せていき
ました。

パンフレットで「安全な須田」を発信！「**つたえる**」

「昔の人は、どうやって大水を防いだんだろう？」
「自分たちが住む須田で、みんなが、より安全に暮らせるために、自分たちにできることがあるとしたら、どんなことだろうか？」4年生の学びの足跡を、パンフレットで**つたえる**予定です。

【学習の流れ】(20時間)

- 須田にとっての信濃川って どんな川？
- 「大島頭首工」「排水機場」は何のため？
- 信濃川と須田 ～昔と今～
- より安全に暮らすために、できることは？
- 考えたことを、ポスターで伝えよう！